

キャラクター名  
六月朔日 君尋

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ソラリス		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	古美術商
	オプション		年齢	28	性別	男
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	29	%
出自	双子の兄弟がいる	経験	大失態	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	5	0	0	1		6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	4	
運転:	2		芸術:			知識:	1		情報: UGN	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: FH	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
働カズ		0	4	1人		攻撃+5 ダイス4個 達成値+6
我ハ救イヲ求メズ100%		0	12	3人		クリティカル-1,ダイス13個 達成値+8 攻撃+5
上記130%		0	12	3人		クリティカル-1,ダイス16個 達成値+10 攻撃+5
我、働カズ		0	9	1人		クリティカル-1ダイス10個 達成+6 攻撃+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
情報収集チーム	
セーフハウス	
携帯	
キセル	
着物(制服)	
メモリー六月朔日みやこ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
ななみ	P 慈愛	N 悔悟		
テレーズ・ブルム	P 誠意	N 嫉妬		
【記憶探索者(メモリーダイバー)】	P	N		
くさかきみひろ	P 連帯感	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 20 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
狂戦士	3	5	メジャー	視界	単体	自動	80↑	
効果: クリティカル-1 ダイスLV×2								
要の陣形	2	3	メジャー	視界	3	自動		
効果: 対象3体								
戦乙女の導き	2	2	メジャー	至近	単体	自動		
効果: 攻撃+5 ダイスLV+2								
アクセル	2	3	セットアップ	視界	単体	自動		
効果: LV×2+行動値								
隆起する大地	4	2	オート	至近	範囲	自動		
効果: 攻撃を-(LV×4)								
導きの花	3	2	メジャー	視界	単体	自動		
効果: 達成値+(LV×2)								
機械の声	★	1						
効果:								
細菌環境操作	★	1						
効果:								
不可視の領域	1							
効果:								
成長促進	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

表向きは古美術品を扱う商人、家を改装している。特に統一性があるものばかりではなく自分が気に入ったものを仕入れている。(ほぼ趣味の範囲) なんだかん だでリピーターはいるらしい。キセルをぶかし禁煙することができない (Fat Cat)  
 終 なな未(キマイラ)に店の管理を任せて新たな任務ため日本を奔った平和に生きるため、そしてもう二度と部下をさせまいと剣崎レンヤの墓の前で誓って【記憶探索者(メモリーダイバー)】  
 シーンに登場しているキャラクター一人のタイタス一つをロイスに変更する  
 但し、この効果を望まない相手には使用できない。  
 また、この効果はあなた自身を対象にする事は出来ない。  
 ロイスを戻すタイタスは、対象が選択する。(既に昇華したタイタスでも可)  
 この効果を使用するとあなたの侵食率が1d10上昇する。  
 オートアクションでいつでも使用できる  
 1シナリオに1回使用可

後付け  
 商家六月朔日の長男として生まれ、何不自由ない生活を送っていた。しかし、当時10歳頃双子の姉と『探検』と称して蔵で遊んでいたとき、「絶対に入っていけない」と言われていた奥の扉が開いていた…「やめようよ■■■姉さま」と止めようとするがその静止を聞かず姉■■■に引きずられ入って行ってしまった。扉の奥には多くの本、絵画、石像など何かしら惹きつけるのを感じさせるものが多く存在した。しかしその中でも異彩を放っていたものがあった部屋の中央に飾られている■■■■「■■■の■」部屋は暗く、締め切られていたがライトのアカリにより照らし出された「■■■の■」は、黒く反射してこの世にこの何も美しく、魅了する■があるのかと幼いながらも思ったのだ。幼い姉弟はその■に手に触れてしまう。その時、体に何かが巡る衝動が駆け巡った。体中の細胞組み換えられていく感覚を君尋と姉■■■に襲われ侵蝕される。のちにこう呼ばれていることを知る【レネグイドウイルス】と…  
 幼い二人はその力を制御するすべを持たなかった。UGNの施設に入れることになる。初期訓練から数日後、六月朔日姉弟は別々の施設に入ることになる。「男の子なら泣かないの。次の休みに遊びに来るから」という約束を姉■■■交わし君尋は、その約束を信じてた。その約束は実現されることはなかった姉は優秀だっ